

放射線安全フォーラム  
第71回放射線防護研究会

「クリアランスレベルの考え方と測定の不確かさの論点について」

開催趣旨

現在 IAEA では安全指針(RS-G-1.7)「規制除外、規制免除及びクリアランスの概念の適用」の見直しの作業が進んでおり、その改訂版の中に JCGM(計量計測関連ガイドに関する合同委員会)106ガイド(適合性評価における測定不確かさの役割)の内容を取り入れようとしています。また、SSK(ドイツ放射線防護委員会)や NRA(原子力規制庁)では、その考え方をクリアランス基準の判断に使用する方針を明らかにしています。

しかし JCGM106は製品管理などに適用されるガイドであり、そもそも安全と危険の境目ではない、放射線防護の基準値を遵守しているかを確認する目的に使用することはふさわしくないのではないかと意見があります。特に10  $\mu$  Sv/y 付近の低線量を対象とするクリアランスのような事案では、難測定核種に対して設定した核種組成比や測定そのものに不確かさが大きく、グレーデッドアプローチの観点等からの論点は少なくありません。

今後の放射線防護、安全管理の分野に大きな影響がありそうな関連の国内外の動向について、電力中央研究所の服部様から解説をいただき、また加速器利用等の分野からもコメントいただくことよって理解を深め、皆様と議論を行いたいと考えています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

記

1. 日時、場所

日 時 : 2021年12月18日(土)13:30~17:00

場 所 : WEB(オンライン)での開催とします。インターネットへの接続が必要です。  
快適に参加するために Download の速度は 20 Mbps 以上 をお勧めします。

2. プログラム

司 会 : 田野井 慶太郎 東京大学教授 放射線安全フォーラム理事

講 演 : 服部 隆利 「クリアランスレベルの考え方と測定の不確かさの論点について」  
一般財団法人 電力中央研究所 サステナブルシステム研究本部

コメント: 加速器利用の立場から

榊本 和義 高エネルギー加速器研究機構名誉教授 放射線安全フォーラム理事

総合討論: ご登壇の先生方を交えて、討論します。

3. 参加費 (放射線安全フォーラム会員は無料)

一 般 : 2,000円

学 生 : 無料 (HP 申込時に学校名、学部・学科、大学院の場合、研究科・専攻、下一桁を除いた学生番号を記入してください)

12月10日(金)までに、以下の口座に振込をお願いします。

振込名義が申込者と異なる場合は、必ず振込依頼人欄に申込者の名前を入力してください。

<振込先口座> 三菱UFJ銀行 虎ノ門支店

普通預金口座 0054856 特定非営利活動法人放射線安全フォーラム

4. 参加申込み : ホームページよりお申込み下さい。 <https://www.rsf.or.jp>

事前登録制です。定員は100名を予定しております。参加費は事前振り込みをお願いいたします。

参加される方は必ず受付フォームよりフルネームを記入の上、参加申込みをお願いいたします。

申込期日後 ZOOM 招待を申請(登録)されたメールアドレスに発信いたします。

受付期間終了後の参加お問い合わせは、事務局までお願いします。

5. 申込期日 : 2021年12月10日(金)17:00

6. 問 合 せ : [mail@rsf.or.jp](mailto:mail@rsf.or.jp)

以上